



阪急阪神不動産の分譲マンション『ジオ京都御池通』が 2025年度グッドデザイン賞を受賞しました

阪急阪神不動産株式会社は、分譲マンション『ジオ京都御池通』（京都市中京区）が、2025年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しましたので、お知らせします。

なお、『ジオ京都御池通』の受賞により、当社のマンションブランド〈ジオ〉は、9年連続、通算で18案件の受賞となりました（昨年度は『ジオ四天王寺一丁目』で受賞）。



外観



位置図

■『ジオ京都御池通』（2025年竣工）

本物件は、歴史と自然、文化が日常に息づき、国内外の人々を魅了し続ける京都の中枢・御池通に面する視認性の高い場所に位置しています。街並みの価値をも高めることを目指し、京都らしい「形」の踏襲ではない、歴史と新しい文化が混ざり合い発展を遂げてきたこの地ならではの、「集合住宅の在り方」を追求しました。

『グッドデザイン賞』とは

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の話題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。<http://www.g-mark.org/>

受賞内容の詳細は別紙をご覧ください。

【受賞サイト URL <https://geo.8984.jp/geo/prize/>】

以上

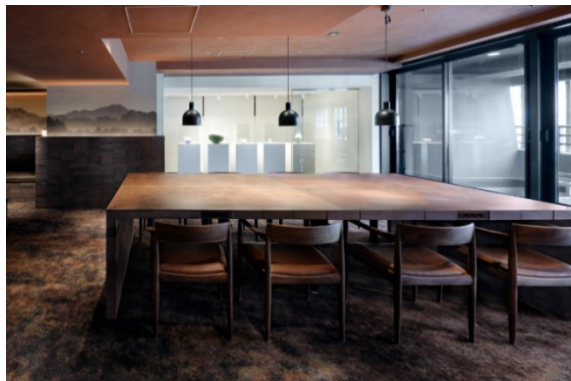
【添付資料】**別紙** 分譲マンション『ジオ京都御池通』の特徴について

■分譲マンション『ジオ京都御池通』の特徴について

別紙

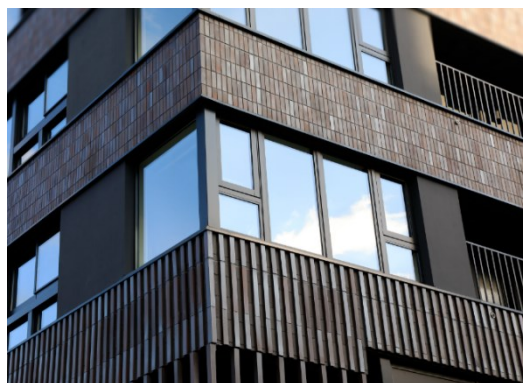
『地域とつながり、文化をはぐくむ ー集まって暮らす豊かさー』

共用部に地元作家の作品をサブスクリプション形式で展示。管理費で活動を支援しながら、地域と住民が芸術文化を通じて触れ合う豊かさを実現しました。



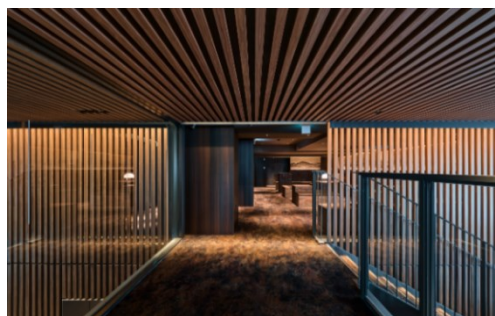
『既成概念に捉われない外観・共用部デザイン』

景観の価値を高める象徴性と役割を意識し、京都らしい「形」の踏襲ではなく、外観や共用部を構成するデザインにおいても、そこに用いた素材自体の美しさを際立たせることで、都市軸に対して敷地が持つ固有性を体現しました。



『五感に響く、心地よさと寛ぎ 職人の手技と固有の素材』

共用部は、職人の伝統工法による素材や五感に響くアートを採用。京都の山並みを描いた和紙の壁画や陶土で作られた照明など、均質さを求めず、一つひとつが美しい要素を構成していることにこだわって、空間としての普遍的な美しさを追求しました。



審査員コメント

シンプルな外形は集合住宅らしからぬものであるが、素材感のあるタイル壁が等ピッチで現れ、開口部のデザインやインナーバルコニーが住居であることを暗示している。遠景と近景の双方を意識することで、奥深いデザインになっていると言える。共用部のデザインも抑制が効いており、全体として饒舌さを排した上質な印象である。

物件概要

所在地	京都府京都市中京区河原町通二条下る二丁目 下丸屋町 413-44 番他（地番）
交通	京都市営地下鉄東西線「京都市役所前」駅 徒歩 1 分
敷地面積	927.97 m ²
建築面積	811.06 m ²
延床面積	7,888.76 m ²
構造・規模	鉄筋コンクリート造、地上 11 階
総戸数	69 戸（他 4 店舗）
事業主	阪急阪神不動産株式会社
竣工年月	2025 年 1 月